

3-2. 仕 様

形 式		RTC-1350A	RTC-1325A
負荷方式		コンピュータ制御による閉ループデジタルサーボ機構 引張・圧縮両振り負荷フレーム	
試験容量	100mm/minまで	50kN(5tf)	25kN(2.5tf)
	100mm/min以上	10kN(1tf)	
試験位置(負荷位置)		基盤と移動クロスヘッド間において、引張試験、圧縮試験が可能 RTC移動クロスヘッド用チャックスタンド取付台(オプション)を使用することにより、移動クロスヘッド上部において最大50Nまでの引張試験が可能。50N以上の場合は、高負荷型固定クロスヘッド(オプション)が必要。	
クロスヘッドストローク		990mm	
有効ストローク※1		608mm	
有効試験幅		590mm	
試験速度 (クロスヘッド速度)		0.05, 0.1, 0.2, 0.3, 0.5, 1, 2, 3, 5, 10, 20, 30, 50, 100, 200, 300, 500, 1000 mm/min 18速	
41) プリセット速度(任意速度)		上記速度範囲を、0.01mm/min単位で、最大6速度まで設定可能	
クロスヘッド速度精度※2		±0.2%	
クロスヘッドリターン速度		500, 1000mm/min 2段	
変位表示		5桁 デジタル表示 [単位:mm]	
クロスヘッド マニュアル操作		UP/DOWN スイッチにより上下移動可能 マニュアルノブにより微動可能 (試験停止状態でのみ有効)	
駆動方式		マイクロコンピュータ制御による閉ループデジタルサーボ機構	
安全機構		1. クロスヘッド上下に任意に設定可能なストロークリミッタを付属し スイッチ作動時自動停止 2. 荷重アンプ、オーバロード機構付 レンジフルスケールの102%を超えるとブザーで警告します。 荷重レンジが100%の場合は、ブザーとメッセージで警告し、試験中 であれば試験を停止します。(荷重レンジが100%以外の場合は試験を 続行します。)	
ロードセル	S I 単位	UF-50KN-D	UF-25KN-D
	重力単位	UF-5-D	UF-2.5-D
		ロードセルの定格は自動識別	
ジョウ		5000BJM-1D	
寸 法	試験機本体	約 1000(W)×585(D)×1655(H)mm	
	計測制御部	約 192(W)×80(D)×288(H)mm ただし取付金具含まず	
重 量	試験機本体	約 300kg	
	計測制御部	約 2.6kg	
電 源		AC200V 3φ 50/60Hz ケーブル先端柳	
電源容量		約 4200VA	約 2200VA
環境条件		温度: 5~40℃ 湿度: 80%以下 電源: AC200V±5% 3φ	

※1: 標準付属ロードセル及びジョウを装着した時のストローク

※2: 定常運転の値